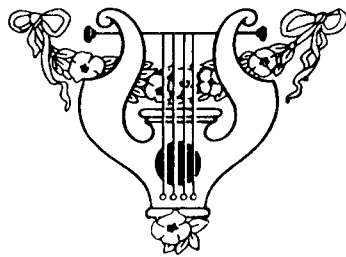




鎌倉交響楽団

(創立40周年記念第1回演奏会)

第79回定期演奏会



2002年5月18日(土) 5:00p.m.

鎌倉芸術館

[後援] 鎌倉市教育委員会、鎌倉エフエム放送

助成:



芸術文化振興基金

メッセージ

祝 辞

鎌倉市民混声合唱団 代表 雑喉利明

本日は鎌倉交響楽団第79回定期演奏会、おめでとうございます。鎌倉市民混声合唱団を代表してご挨拶申し上げます。

当合唱団は1982年に鎌倉市主催の合唱教室を母体として結成された合唱団で、その時も鎌倉交響楽団さんとベートーベンの第9を演奏しました。以来、モーツァルトやフォーレのレクイエムなどでも共演させていただきました。今回は鎌倉交響楽団設立40周年という記念すべきイベントとして、ヴェルディの歌劇に挑戦することとなりました。器楽と声楽の違いはありますが、今後とも良質の音楽を楽しく演奏して行き、いつの日かまた同じステージで新しい挑戦ができればと思います。

今後ともよろしくお願ひします。

鎌倉交響楽団創立40周年によせて

鳳混声合唱団 理事長 野口薫

鎌倉交響楽団創立40周年、おめでとうございます。いまから40年前といえば、まだ青年だった私がやっとクラシックに興味をもち始め、「未完成」や「新世界」LPレコードを試聴してから買い求め、兄のプレーヤーでわくわくしながら聴いていた時期です。もうそんな頃からこの鎌倉でオーケストラの演奏を始めていたなんて信じられないと同時に、なんて素晴らしいことなんだろうと感動してしまいます。

40年間、数限りない多くの名曲を演奏してこられたのでしょう。今回、図らずも私たち鳳混声合唱団と一緒に演奏できることになり、光栄のいたりです。

鎌倉交響楽団40周年の記念すべき演奏会の成功のため、微力ではありますが一生懸命歌わせていただきます。

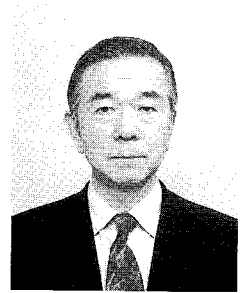
メッセージ

ごあいさつ

鎌倉交響楽団 団長 山本賢二

本日は当団創立40周年の記念演奏会にお運びいただき、誠にありがとうございました。

1963年に産声をあげた当時は、練習に集まる団員も少なく、大勢の応援を得て辛うじての演奏会を維持するような状態が続きましたが、最近では常時団員が100名を超え、立派な演奏会場もできてこのような記念演奏会を開催できるようになりました。この間の、地元の皆さまの当団への暖かいご支援に対し心からお礼申し上げます。今後とも鎌倉のアマチュアオーケストラとして、本演奏会のように関係団体のご協力も得つつ、地域に密着した活動を続けてまいりたいと思いますので、変わらず熱い応援をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ

鎌倉交響楽団 創立40周年実行委員長 吉田龍夫

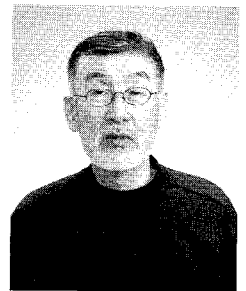
本日は40周年演奏会にお出でいただき誠に有難うございます。

当団の昨年7月の総会で実行委員長を仰せつかりました。以来10人のメンバーと共に、長らくご愛顧いただいた皆様に感謝の気持ちを表せるような楽しい企画を練ってきました。そして、今回と次回の演奏会を記念の会とさせていただくことにしたのです。

まずは今回です。曲目、プログラム、舞台の飾り、プレコンサート、ロビーの展示、いずれも皆で考え実行したものです。ご満足いただけるものと思います。ご意見ご感想をお寄せ下さい。

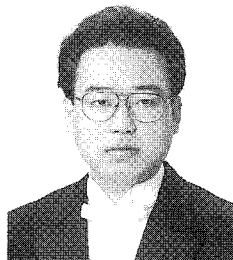
次回は全く趣の異なった曲を揃えています。40年培った鎌響の「音楽」を聴いていただきます。

ご期待の上、またのご来場をお待ち申し上げます。有難うございました。



プロフィール

指揮 / 森口真司 (もりぐち しんじ)



大阪府出身。

6歳よりピアノを始め、高校時代よりオーケストラ活動に取り組む。

京都大学文学部在学中より指揮を田中良和氏に師事。

1989年東京芸術大学指揮科に入学、卒業と同時に大学院に進学し、さらに研鑽を積む。

1995年修士課程修了。

在学中に指揮法を遠藤雅古、フランシス・トラヴィス、若杉弘、岩城宏之、ピアノを角野裕、ソルフェージュをアンリエット・ピュイグ＝ロジェ、藤井一興、野平一郎、和声法を広瀬量平の各氏に師事。

1995年5月にチェコのプラハにて行われた第47回「プラハの春」国際音楽コンクール指揮部門で第3位受賞(1位なし)、同時に「プラハの春」国際音楽祭に出演し、ドヴォルザークホールに於てプラハ放送交響楽団を指揮、その演奏はFM東京でも放送された。

コンサート指揮者としてこれまでに東京都交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、オーケストラアンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等、全国各地のオーケストラに客演、年40回以上のステージに立つ。さらに東京佼成ウインド・オーケストラ、東京混声合唱団にも招かれるなど、あらゆるジャンルにおいてその才能を発揮している。

またモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」、プッチーニ「ラ・ボエーム」「トスカ」「外套」、チレア「アルルの女」「アドリアーナ・ルクヴール」、チマローザ「秘密の結婚」、レハール「メリー・ウィドウ」、ヴェルディ「椿姫」、ビゼー「カルメン」を自ら上演したほか、チョン・ミュンフン、アッシュャー・フィッシュ、若杉弘、井上道義、佐藤功太郎など内外の名指揮者のもと、新国立劇場、二期会を中心に30以上のオペラ公演に携わるなど、オペラ指揮者としても高く評価されている。

◆今回の演奏会に当り、古谷誠一、小泉智彦、角岳史、平林剛、三輪純生の諸先生方にもご指導いただきました。

管弦楽 / 鎌倉交響楽団



プロフィール

ソプラノ / 齋藤三和子 (さいとう みわこ)

東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修了。

瀬山詠子、木村宏子の両氏に師事。

第65回日本音楽コンクール入選。第7回演奏堂日本歌曲コンクールにおいて奨励賞を受賞している。文化庁助成による「演連コンサートⅢ」として開催したリサイタルは、音楽誌上でも、集中度の高い説得力ある歌唱と評される。バッハ「マタイ受難曲」などの宗教曲をはじめ、同世代の作曲家による歌曲作品の初演や現代曲など、多岐にわたり演奏活動を行っている。また本年7月には東京文化会館小ホールにおいてリサイタルが開かれる。日本演奏連盟会員。



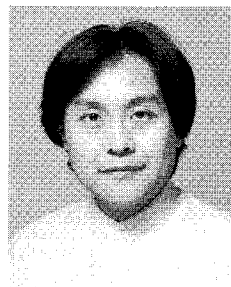
テノール / 土師雅人 (はじ まさと)

京都市立芸術大学卒業、東京芸術大学大学院修了。

スメタナの歌劇「売られた花嫁」で主役デビュー、翌年「イドメネオ」のタイトルロールを歌う。その後「リゴレット」「蝶々夫人」「トスカ」「ラ・ボエーム」「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「カルメン」他多数のオペラでプリモテノールをつとめる。また2001年9月の首都オペラ公演「ホフマン物語」ではホフマン役で「音楽現代」等で好評を博した。また、N響・新日本フィル・東響・都響等の主要なオーケストラと、「マタイ受難曲」のエヴァンゲリスト・第九・レクイエム・メサイア等のテノールソロで共演し好評を博している。

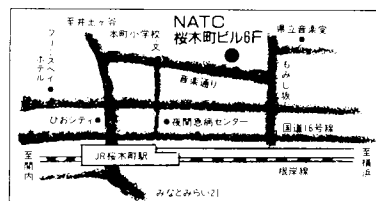
NHK FMリサイタル、イタリア声楽コンコルソ、日本音楽コンクール入選。

二期会会員、江東区音楽家協会理事、KOTOオペラ代表。



《製作・修理・毛替・販売》

弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町3-96-4 NATC桜木町ビル6F ●営業時間/AM10:00~PM7:00(日・祭休み)

プロフィール

鎌倉市民混声合唱団



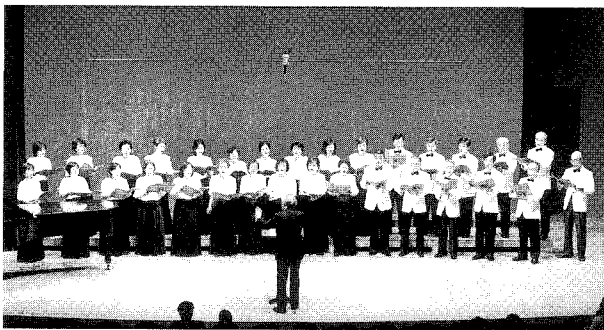
1983年4月設立。前年に鎌倉市の社会教育の一環として混声合唱教室を企画創設し、そのメンバーの大半で合唱団を結成しました。現在、会員は20代から80代まで主婦、会社員、学校の先生等様々な顔ぶれで構成され約60名。また、鎌倉市民だけでなく、横浜、藤沢、逗子等から来ているメンバーもいます。曲目については、アカペラを中心に、宗教曲・日本の歌・オペラ曲集等、色々な分野に挑戦しています。指揮者には混声合唱教室からご指

導をいただいている川合良一先生、他にヴォイストレーナーとして斉藤三和子先生。

この6月30日(日)には、第17回定期演奏会が鎌倉芸術館大ホールで開催されます。

是非、ご来聴いただきたく存じます。

鳳混声合唱団



1971(昭和46)年、鶴見区東寺尾に産声をあげて30年、指揮者小野里暢高先生の指導のもとに、毎週水曜日歌い続けてきました。この間、7回の演奏会、サロンコンサート等の開催のほかに、『知られざる名曲をたずねての演奏会(知ら名)』『カワイ新リーダーシャツ出版記念演奏会』『東京カテドラル教会・ミサ演奏会』等に出演してきました。また『ヨコハマコーラルフェスト』『鶴見区合唱の集い』にも参加してきました。

春のハイキング、6月の「センター祭」出演、慰問演奏会、8月の箱根芦の湯温泉での2泊3日の合宿、12月の忘年会なども楽しく行っております。

また、鎌倉混声合唱団様とは交流会を通じてお付き合いが始まりました。

鎌倉交響楽団第79回定期演奏会

Kamakura Symphony Orchestra The 79th Regular Concert

[指揮] 森口真司

Shinji MORIGUCHI, conductor

交響曲第1番 ハ短調 作品68

Symphony No.1 C-minor Op.68

J. ブラームス

Johannes Brahms

----- 休憩 *Intermission* -----

歌劇「運命の力」序曲

— *Overture from Opera "LA FORZA DEL DESTINO"*

G. ヴェルディ

Giuseppe Verdi

アリアと合唱曲

Arias & Choruses from Verdi's Operas

G. ヴェルディ

Giuseppe Verdi

[ソプラノ] 斎藤三和子

Miwako SAITO, soprano

[テノール] 土師雅人

Masato HAJI, tenor

- 1 歌劇「運命の力」から「神よ平和を与えたまえ」(ソプラノのアリア)
"Pace, Pace, mio Dio" from "LA FORZA DEL DESTINO"
- 2 歌劇「トロヴァトーレ」から鍛冶屋の合唱「朝の光がさしてきた」
Anvil Chorus "Vedi! le fosche" from "IL TROVATORE"
- 3 歌劇「リゴレット」から「女心の歌」(テノールのアリア)
"La donna è mobile" from "RIGOLETTO"
- 4 歌劇「仮面舞踏会」から「告げよ、船出の運命を」(テノールのアリア)
"Di' tu se fedele" from "UN BALLO IN MASCHERA"
- 5 歌劇「ナブッコ」から「行け、我が思いよ、金色の翼に乗って」
"Va, pensiero, sull'ali dorate" from "NABUCCO"
- 6 歌劇「椿姫」から「パリを離れて」(二重唱)
"Parigi, o caro" from "LA TRAVIATA"
- 7 歌劇「アイーダ」から「エジプトとイシスの神に栄光あれ」、「凱進行進曲」、「戦いに勝った將軍よ前へ出よ」
"Gloria all' Egitto, ad Iside", "Marcia Trionfale"
& *"Vieni, e guerriero vindice" from "AIDA"*

解説

交響曲 第1番 ハ短調 Op.68 J. ブラームス (1833-1897)

私たちはひとつの節目となる40周年のプログラムに、団員の間で最も人気の高い作曲家のひとり、ブラームスの交響曲を選びました。

ブラームスは交響曲を作ることに大変慎重だったようです。22歳の頃、シューマンの序曲に感銘を受けて交響曲の構想を練り始めましたが、この第1番が完成したとき彼は既に43歳で、交響曲以外では既にいくつもの名曲を発表していました。ブラームスは偉大な先人ベートーヴェンを心から尊敬しており、彼の交響曲にひけをとらない作品をと考えて、生来の強い自己批判精神で試行錯誤を繰り返したのです。

そして生み出された第1番は、当時の有名な指揮者ビューローに「第10交響曲」、つまりベートーヴェンの第9番に続く名曲と評されました。また、第4楽章の有名なメロディが「歓喜」の合唱主題と似ている事がしばしば指摘されます。しかしもちろん、この曲の思想と緻密な技法はブラームス独自のものです。北ドイツ人気質が強く質素で内向的な性格ながら、周囲の人々を惹きつけ多くの理解者を得ていたという彼自身の姿が、作品に表れているのです。

第1楽章：序奏の始まりは緊迫感に満ち、木管楽器がもの悲しく奏された後、アレグロの主部が始まります。情熱的かつ闘争的に、たたみかけるように曲は展開していきますが、やがて諦めとも映る美しさの中でこの楽章を終えます。

第2楽章：しみじみとした中に宗教的な気高さの感じられる楽章です。オーボエの奏でる情感溢れる旋律と、後半のヴァイオリン独奏が印象的です。

第3楽章：クラリネットが素朴な旋律を無邪気に歌い始めます。軽快な中に痛々しさも漂ってきますが、管楽器と弦楽器が呼びかけ合いながら、曲は清々しい明るさを増していきます。

第4楽章：暗雲のような重々しさから激しさを増し、やがて朗々とホルンが響きます。この旋律は、第1番を作曲中、ブラームスが終生敬愛したシューマン夫人クララの誕生日に贈ったものです。続いて満を持したトロンボーンが荘厳なコーラルを奏し、明るく親しみやすい主題が登場します。その後過去を回想しつつ曲の調子は高まってゆき、力強く輝かしい響きで締めくくられます。

ヴェルディのオペラより

G. ヴェルディ (1813-1901)

後半はがらりと雰囲気を変え、華やかなイタリア・オペラの世界をお楽しみ下さい。

ヴェルディはイタリア北部の小さな村に生まれました。ミラノで作曲活動を始めた彼は妻子を次々と病気で失い、発表したオペラも失敗という苦難の末、28歳の時「ナブッコ」の大成功で一躍時の人となったのでした。

当時のイタリアは現在のようなひとつの国ではなく、主にオーストリアの勢力と複数の小国に分割支配されていました。この頃イタリアの人々の間に自分たちの国を確立したいという気運が高まっていて、当初愛国心がテーマの作品が多かったヴェルディは、国家統一運動の象徴として支持されました。彼自身、オーストリア支配下では作品の内容について厳しい検閲を受け、自ら理想とするオペラを上演するためには検閲当局と闘わねばなりません。

このような状況の中ヴェルディは次々とオペラを発表し、人々に拍手をもって迎えられました。1861年ついにイタリア王国が成立すると、彼は求められて国会議員もつとめました。こうして国民的な巨匠の名声を得、彼のオペラは国外でも各地で成功し、宗教曲「レクイエム」でも賞賛を浴びたのでした。

ヴェルディのオペラのほとんどは、家族愛・男女の愛・故郷への愛が互いにせめぎ合い、恨みや嫉妬を招いてついには悲劇が起きる、といった内容です。ストーリーは暗いのですが、その中にちりばめられた美しく親しみやすい旋律と、音楽による登場人物の細やかな心理描写が、これらの作品が愛される理由でしょう。そしてヴェルディ最後のオペラ「ファルスタッフ」は一転して喜劇の傑作であり、最後に登場人物たちが楽しく「世の中は全て冗談ばかり」と歌って大団円で終わります。人間の愛憎や執念を悲劇の中に描いてきた彼がこのように幕を下ろすとは、なんともしゃれていてお見事というほかありません。

解説

*歌劇「運命の力」

数奇な運命の力に翻弄される3人の男女の物語。侯爵家の娘レオノーラと恋人アルヴァーロは結婚を許されず、駆け落ちする時誤って彼女の父親を殺してしまいます。2人は逃避行中に離れ離れになり、レオノーラの兄は父親の仇を討つため2人を追ひ、悲惨な結末を迎えます。

「序曲」は抗い難い力を表す金管楽器の音で始まり、続いて弦楽器がうねるような「運命の主題」を奏して不安をかきたてます。劇中で歌われる旋律が続けて登場しますが、運命は美しいメロディの下でも不気味にうごめいています。曲の最後は華やかさも加わって壮大に終わります。「神よ平和を与えたまえ」は終盤、過酷な運命に疲れ果て修道院に入ったレオノーラが、今でも彼を愛していると祈りの中で訴え、心の平安を得るために死を願う場面で歌われます。レオノーラ役最大の聴かせどころです。

*歌劇「トロヴァトーレ」

「トロヴァトーレ」とは騎士階級出身の吟遊詩人のことで、主人公マンリーコを指しています。ヒロインをめぐるマンリーコとルーナ伯爵の三角関係に、かつて母親と子供を伯爵家に火あぶり刑にされたジプシーの老婆の復讐劇が絡み合います。マンリーコはこの老婆に息子として育てられたが実は…という、どんでん返し結末。「朝の光が差してきた」は流浪のジプシーたちが山中で鉄を鍛えながら歌う、酒とジプシー娘を称える歌。鉄を打つ音と合唱の掛け合いが面白く、「鍛冶屋の合唱（アンヴィル・コーラス）」として有名です。

*歌劇「リゴレット」

好色家のマントヴァ公爵に仕える道化師のリゴレットは、愛娘ジルダを公爵にもてあそばれたことに激怒し、殺し屋を雇って復讐を計画。しかし公爵の本性を知ってもなお彼を愛し続けるジルダは自ら身代わりになり、リゴレットは娘の亡骸を抱いて泣き崩れる…という物語。「女心の歌」は公爵が「風の中の羽のように、女心は変わる」と歌うのですが、本人が一番浮気性なものでした。ヴェルディはこの歌が流行すると予見して直前まで隠しましたが、初演の日にはもうヴェネツィア中に広まっていたと言われます。

*歌劇「仮面舞踏会」

総督リッカルドは気高い人物でしたが、親友の妻を心密かに愛しており、それを誤解されて仮面舞踏会で友の手により暗殺されてしまいます。「告げよ、船出の運命を」は、リッカルドが漁師に変装し、ジプシーの女占い師に運勢をたずねる場面で歌われる、軽快なカンツォーネです。そして占い師は彼が本当は貴人だと見抜き、さらに不吉な運命を予言するのです。

*歌劇「ナブッコ」

聖書の物語を元にして、バビロニア王ナブッコと2人の娘を中心に民族の対立を描いた、ヴェルディの出世作。「行け、我が思いよ、金色の翼に乗って」は捕らわれたヘブライ人たちが失われた祖国を懐かしむ合唱です。これが統一前のイタリアの人々に訴えかけ、今でも第二の国歌と言われるほどポピュラーです。イタリア人ならずとも、愛する故郷への想いを切々と歌うこの曲は胸に迫ります。

*歌劇「椿姫」

パリの裏社交界の花形、ヴィオレッタはパーティ（ここで歌われるのが有名な「乾杯の歌」）で青年アルフレードと出会い、真剣な恋に落ちます。しかし高級娼婦の彼女は相手を愛するが故に身を引き、それを裏切りと誤解するアルフレード。誤解がとけて二人が再会したとき、ヴィオレッタは既に重い病の床でした。「パリを離れて」は互いの愛を再確認した二人が、「パリを離れて一緒に暮らそう」と未来を語り合うのですが、この歌ののちにヴィオレッタは息を引き取るのでした。

*歌劇「アイーダ」

スエズ運河開通を記念して建てられたエジプトのカイロ歌劇場からの依頼で、58歳の円熟期に作った、これまでの総決算ともいえる作品。エチオピア王女でありながら捕らわれてエジプトの奴隷となったアイーダと、エジプトの将軍ラダメスの悲恋物語です。ラダメスが都に凱旋する場面では、まず勇壮なファンファーレが響き、エジプトの民が祖国と神を称えて「エジプトとイシスの神に栄光あれ」の大合唱。続いて「凱旋行進曲」でエジプト軍が意気揚々と行進していきます。ここで使われたのが、この曲の為に用意された細長い形の「アイーダトランペット」です。再び、勝利に酔いしれた人々が「戦いに勝った将軍、前へ出よ」を合唱します。この一連の場面は「グラント・フィナーレ」と呼ばれ、全てのオペラ作品の中で最も華麗な場面とされています。本日はコンサート形式ですが、一体どこからファンファーレが響いてくるか？どうぞお楽しみに。そして壮大な古代エジプトのファラオの都を思い描きつつ、楽しんでいただければ幸いです。

(清水里美)

団内誌 “TUTTI” から

tuttiとはイタリア語のtutto（全て）の複数形。音楽用語としては「全員で演奏する」という意味で、古くから鎌響団内誌のタイトルとして使われています。“TUTTI”は不定期刊行ですが、このところ3年は年4回、春夏秋冬に発行されています。内容は、「指揮者メッセージ又はインタビュー」「鎌響の仕事人」「私の練習法」「隣のオケ（のデータ紹介）」「教えて！その楽器（人の楽器に対するの団員の疑問Q&A）」「鎌響昔話」「新入団員紹介」その他トピックス、とヴァラエティに富んでいます。

本日は、この3年間に“TUTTI”に掲載された記事の中から、いくつかご紹介することとします。（紙面の都合から原稿の一部を割愛しています。）

まず最初は、普段は仕事や家事で忙しい団員がどうやって練習をしているのだろう、うまい工夫があれば知りたい、という目的でシリーズ化されている「私の練習法」からご紹介します。

* 私の練習方法 *

Viola 宮下重美（2000.1.22号掲載）

夜の練習やらお泊りでの合宿やら飲み会やら、鎌響に来ているということは、それだけ家庭を放っているということで、その分平日は子どもと真剣に向き合わねばなりません。また子育てをめぐる状況が何か歪んでいるようなこの時代に在って、自分の子どもだけきちんと育てていければいいというわけには行かず、地域全体で子どもたちを育てていくことができるように、そのために今の自分にできること——子育て支援施設の手伝いや育児サークルの手伝いなどを行っています。（…中略…）

さて、そんなこんなで普段は、夕食の材料を切りながらCDを聴くとか、煮物を煮ながらスコアを見るとかそんな状況です。そこで効率よく勉強（練習ではなく）するために優先順位を決めます。自分のパートの目立つ所、入りがわかりにくい所、リズムの取りにくい所などを優先します。難しい箇所でも目立たない所は後回し、また音程よりリズム優先です。まずは「とにかく音楽の流れに乗っていける」ことを目標にして、どんな曲なのか勉強するのです。その後、難しい部分など指がすんなり出せるようにイメージトレーニングします。正しい指がぱっと出れば、音程は調整の範囲です。とはいえ、そんな準備もできずに練習日を迎えることもしばしばですが。（以下略）

* 私の練習方法 *

ほるん乃アクタガワ（1999.11.3号掲載）

- 練習場所：「楽器可」のマンションでも、どうしても近所が気になります。最高の場所は、やっぱり屋外。家の近所の新林公園（しんばやしこうえん）では、リスも踊ります。「リス達よ」と語りかける気持ちで吹くと、ブグダになったような気持ちが味わえます。（中略）
- 曲の練習：ひとりで練習するする時には、まず必ず一回、全曲を通しています。本番のつもりで、間違っても絶対に止めないで、最初から最後まで、たとえ指に蚊がとまっていることに気付いても決してやめないで…。ものすごい緊張感です。その後必ず10分休みます。この間に楽譜を見ながらいろいろなことを考えます。それから、うまくできなかった場所を30分くらい練習します。これを毎日やるとかなり上達します。しかし、ご存じの通り、私の演奏に結果となって現れていないのは、そうです、やっていないからです。うっ、ツライッ。
- イメージトレーニング：楽器が思い通りに吹けるかどうかは、自分がそれを上手に吹いている姿をしっかりとイメージできているかどうかにかかっています。たとえば高い音が苦手と思っていたら、いつまでも本番での高音はビビッてしまっって吹けません。また、その失敗の記憶が

次の失敗を生みます。自分に対して、「自分はいまいのだ」と信じ込ませることができるといえるかが勝負です。(しかし、なかなかうまくいくものではありません。)(以下略)

次にご紹介する記事は、これもシリーズ物「鎌響昔話」から。「鎌響昔話」は古くからの団員に文字通り昔話を語ってもらうコラムで、比較的新しい世代は「へえー、昔はこんなだったんだあー」と驚き、比較的古い世代は「そうそう、こんなこともあったのよねー」と懐かしがるという人気コラムです。

シリーズ「鎌響昔話」第2弾：「鎌響と私」Violin 宇多綾子 (2000.8.26号掲載)

“鎌響って何だろう”と改めて考えてみた。思えば、第一回の演奏会の直前にひょんな事からお誘いを受け入団したのがそもそもの鎌響との御縁の始まり。それから何十年、途中四年程外国に滞在していた時期を除いては、殆ど私の生活の一部となって鎌響と共に生きて来たように思う。

今は亡き元団長チェロの伊澤龍作さん、ずっと鎌倉市役所に勤務して居られ、何かと市とのパイプ役を果たして下さっていたチェロの服部甚蔵さん、そしていつもにこやかに演奏会場の入り口に立ってお客様を迎えて下さった、マネージャーの鎌倉の名士福井孝一さん、鎌響の生みの親であるこの方々を、今感謝と共に懐かしく思い出す。初代指揮者は、かつて昭和天皇が皇太子時代に訪欧された際、艦の上で当時の軍楽隊の指揮をされたという東清蔵先生。ラデツキーマーチはそのころからの馴染の曲。宗教音楽では屈指の前田幸市郎先生には、亡くなる少し前まで長い間温いご指導をいただいていた。先生の追悼演奏会でベートーヴェン交響曲第三番二楽章(編集者注:「英雄」の葬送行進曲)を演奏したのを記憶されている団員は、今やもう古株でしょう。

演奏面でも運営面でもまだ頼りなかった鎌響も、いろいろな指導者の方、そして何人かの優秀な団員の力があって徐々にしっかりした組織作りがなされ、技術面でもどんどん向上した。特に古谷誠一先生が指揮者として来られた頃から鎌響の演奏が著しく上達したという声を、古くからの鎌響ファンの何人かの方から耳にした。(中略)

忘れられない思い出としては合宿。それも富士山が目の前にそびえる朝霧高原での二泊合宿は楽しかった。練習で快くつかれた後の夜の宴会では大いに飲み語り合い、最後は皆で肩を組んで合唱した。そうした経験が必ず次の演奏会への活力となっていたと信じている。

ヴァイオリン最年少で鎌響へ入ると云っていた息子は、その夢は実現されなかったけれど、今や32才。月日は大きく流れ、時代は移り変わった。けれど音楽を愛する心、合奏を楽しむ気持は変わらない。古い力と新しい力をうまく融合させて、これからもずっとみんなで鎌響を大事に育てていきたいと願って止まない。

セカンドハンドスタッフ

出張

新品から中古まであなたの不用品どんどん買い取ります

捨てる前にまず電話 0467-40-1312

【取扱品目一覧】

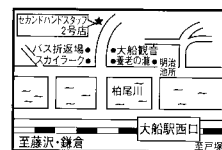
ご家庭品	家具全般・家電(特にリサイクル法で定める物) 雑貨(整理品・贈答品・ギフト品・人形・小物) 貴金属全般・ブランド品全般・その他
厨房用品	イス・テーブル・業務用冷蔵庫・業務用食器 エアコン・照明・音響・看板・自動販売機・その他
店舗事務所	OA機器・スチール家具・オフィス用品 店舗などの移転・閉店に伴う事務用品・その他

上記記載以外のものでも他より高く買います。どこでも伺います。



1号店大船駅東口

1号店 ⑧ 10時～18時30分
⑨ 日曜日
☎ 0467(47)0187



2号店大船駅西口

2号店 ⑧ 10時～21時
⑨ 木曜日
☎ 0467(40)1312

鎌 響 仕 事 人

オーケストラは100人余で構成される団体。全団員が心地良く音楽を楽しむ為に、様々な係分担等があり、活動を支えています。ここではそうした『仕事人』であるマネージャー・ライブラリアン・楽器運搬にスポットをあて、オーケストラの裏舞台を少し紹介します。

音の輪が、和として響きあうお手伝い・・・“縁の下の力持ち”です。

マネージャー

芳賀節子

鎌響は今、100人を超える大所帯。練習のお膳立てをするマネージャーは4人います。マネージャーの仕事？一練習計画の作成、指揮者・ソリストとの交渉、エキストラの元締め、日々の練習また本番での総括、入退団の管理一と、盛り沢山です。

大変なのが練習場所の確保です。大音響を伴う100人を超える集団ですから、市内で利用できる場所は限られています。おまけにすべてが抽選です。全く取れないこともあります。それでも諦めず、キャンセルが出ていないか時々問い合わせてみます。

指揮者には1年位前には本番の依頼をしなければなりません。緊張の一瞬です。何しろ初対面(?)ですから。本番当日大丈夫でもそれまでの2~3ヶ月、鎌響の練習日である週末のスケジュールが合わなければ。お互いの条件が一致して初めてお願いできます。「ところでギャラは？」単刀直入聞かれます。ここでうろたえてはいけません。「先生は通常おいくらで？」と、およそのギャラを聞き出します。ホッ！

それから練習計画の作成です。間に分奏（弦、木管、金管、打楽器と分かれて練習）も入れます。分かれてということはそれだけ部屋数も多く必要になってきます。合宿も年2回行います。これまた大所帯が大音響を出して、夜中まで飲んで騒いで（もちろん音楽談義ですよ）大丈夫なところ、おまけに近場で、となるとなかなか・・・。

本番が近づくとチケットの売れ行きも気になります。

本番前には舞台のセッティング、受付の設営、お昼のお弁当の手配も・・・。あとは本番が滞りなく終われば取りあえずの仕事はおしまい。おいしいビールが待っています。

そしてまた次の演奏会に向けて・・・。



ライブラリアン

三門サカエ

オーケストラの^{ライブラリアン}図書館員って？それは楽譜係のことです。楽譜の手配や管理が主な仕事です。

演奏会の曲目が決まると早速楽譜の入手となりますが、方法としては購入するか、借りるかです。もちろんすでに団で所有している場合もあります。こう書くと、とても単純なのですが、実際はなかなかすんなりとはいきません。

すぐにも購入できるかと思っていた楽譜が「著作権」というものの関係で販売されておらず、しかるべき取扱店から借りるしかなかったり、所有している楽譜が出して見ればボロボ



口で使用不能だったり・・・。

ですからすべての楽譜が揃い、後は団員に配るばかり、という所までこぎつけた時は、本当にホッとします。

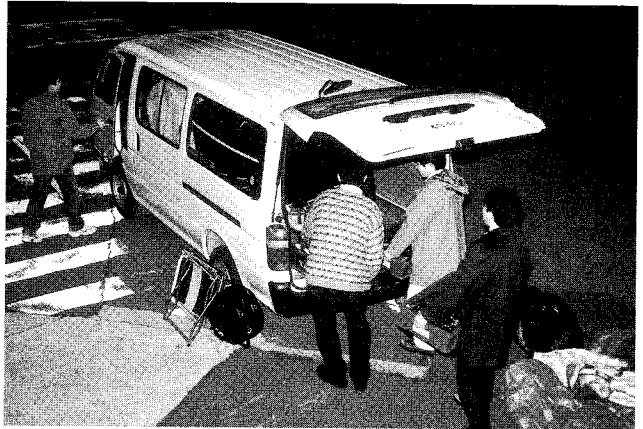
ちなみに本日使用の楽譜は合計545部。オペラの曲数が多くて膨大になりましたが、そのほとんどを40周年委員のY氏が四苦八苦の末、調達してくれました。

演奏会終了後にそれら全てを回収して、今回の楽譜係の仕事も幕となります。

楽器運搬「団車のキモチ・・・」

太田 純

ボクの名前は「ハイエース」、鎌倉交響楽団の車です。毎週練習の度に大活躍のボク。なぜかって？固定練習場所や倉庫のない鎌響は、譜面台や楽譜・打楽器をボクにのせて運んでいるんだよ。鎌倉駅近くのボクの家（駐車場）から、大船・腰越・・・春は桜を、夏は海風を感じながら色々な所へ走るのが！ボクの中にはティンパニー（4台）・大太鼓・小太鼓・タンバリンetc..とにかく満杯に入ってる。打楽器のメンバーはいつも練習開始。1時間前にはボクを待っていて、汗をかきながら搬入しているよ。会場の守衛さんとも仲良しになって、「お願いしまーす」「ご苦労さん」なんてやってる・・・気持ちがいいね。夜間練習では、終了してから会場閉館まで時間との勝負！「あと5分だよ」の掛け声に団員皆で協力して、あっという間に搬出完了・・・手を振る姿をバックミラーに、ほっとしながらボクも家路に就くんだ。街でボクを見かけたら、鎌響団員に伝えてくれるかい？「こんなに頑張るボクを、たまには洗車してよー！！」（・・・ゴ、ゴメン！）。



世界で一番小さいデパート

アトリエ K&T

古布ちりめんの香袋など
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、
両手いっぱいにあります！

営業時間/11:00 ~ 17:00 定休日/月、火曜日
〒248-0003 鎌倉市浄明寺3-2-27 TEL.0467-22-2615

北鎌倉備屋珈琲店
2Fギャラリーにて
(0467-22-9191)

6/12(水)~6/16(日)
作品展開催いたします

◆ ◆ ◆ 鎌響探検隊!? ◆ ◆ ◆

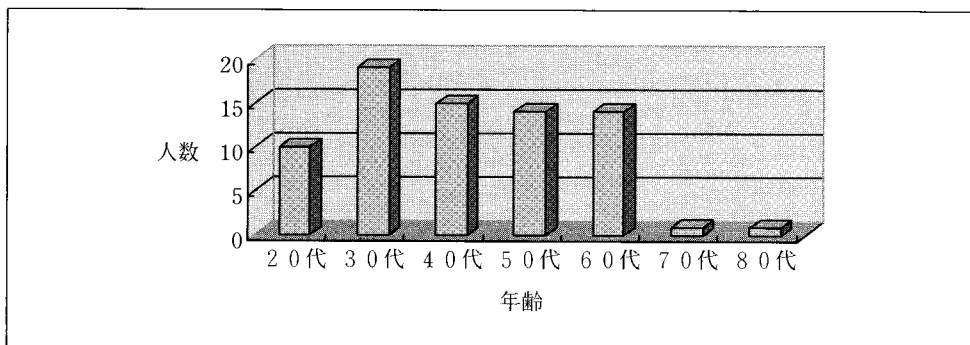
100人超の鎌響、その中身を少し紹介します。今回は73人のアンケートを基に素顔、特徴・・・演奏を聴くにあたって、是非参考に(?)してみてください。

【1】居住地

「鎌響」と言うからには、もちろん鎌倉在住者が中心ですが、他にも藤沢・逗子・平塚・横浜・東京・二宮・・・一番の遠距離参加者は、なんと『山梨県甲府市』から！鎌響の音楽を支えるメンバーたちに国境はありません！?

【2】年齢

最年長85歳の名誉団長率いる鎌響、概算では平均年齢「40歳」でした・・・。



【3】職業

十人十色のアマチュアオーケストラ、仕事の顔・家庭の顔・・・色々な顔あつての音楽活動ですが、多い「顔」は主婦・エンジニア。その他は医療関係・教師・公務員・会社役員・・・変わったところでは、翻訳・菓子教室なんていう人もいます。

【4】好きな作曲家

好みはそれぞれですが、一番票の多かった作曲家は「ブラームス」。その他、上位は・ベートーヴェン・チャイコフスキー・モーツァルト・ドビュッシーでした。本日のプログラムには「ブラームス」があります。団員の思い入れが反映するかしら？

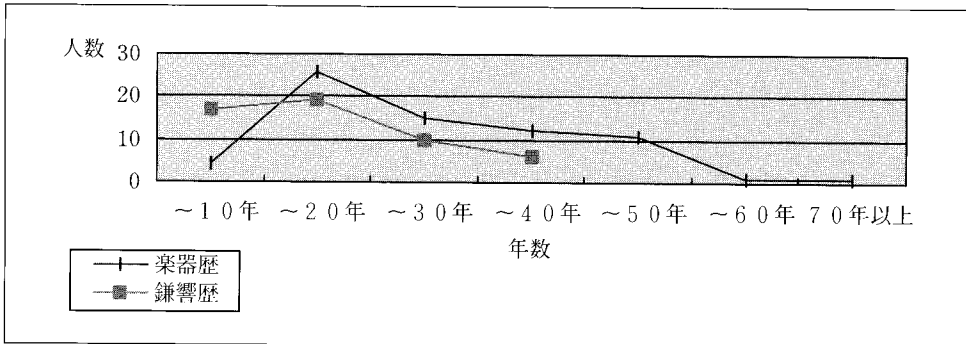
【5】鎌響って「何色？」

「鎌響を色で表現すると？」の質問に・・・みどり・きみどり・モスグリーンなどの「緑色系」、銀・グレー・いぶし銀などの「シルバー系」、という回答が多く集まりました。

芸術はイメージの世界・・・皆様はどんな色をイメージされますか？

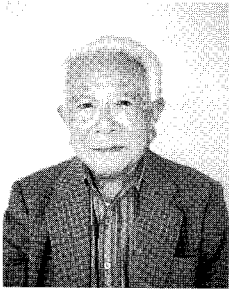
【6】 楽器歴・鎌響歴

年齢層の厚い鎌響、楽器歴・鎌響歴にも幅があります。比較してみてください。



【7】 鎌響の有名人といえば？

団員が選ぶ「鎌響の有名人」、上位5名を発表！！印象的な理由もあわせてどうぞ。



日比谷 平一郎 (ヴィオラ)

- ・存在そのもの
- ・歩く鎌響史



五味 俊哉 (ヴァイオリン)

- ・毎年大きくなっている
- ・美しい音色と腹、厚み



吉田 龍夫 (フルート)

- ・顔、態度、声が大きい
- ・指揮が見えない (苦情)



宇多 綾子 (ヴァイオリン)

- ・鎌響の看板娘！
- ・飲み会の女王！！



太田 純 (パーカッション)

- ・一度あったら忘れない
- ・鎌響の番長！

集計のおまけ

「鎌響の有名人は？」の質問に迷・珍回答が続出！『源 頼朝』『大仏』『志賀 直哉』
 ……すみません、それは「鎌倉の有名人」なのですが… (笑)

団員出演者名簿

常任指揮者：古谷 誠一 コンサートマスター：五味 俊哉 マネージャー：吉田 龍夫/芳賀 節子/
名誉団長：日比谷 平一郎 事務局：田中 幸一 前沢 実/芥川 敬
団長：山本 賢二 副団長：小原 克馬/河原 寛/
島中 正志 会計：曾根 民子
ライブラリアン：三門 サカエ

1st Violin 井上 康男 宇多 綾子 小原 治子 川西 清美 ●河原 寛 桐本 圭三 ●五味 俊哉 高橋 けい子 富岡 陽子 中村 順子 西村 靖之助 芳賀 節子 広木 孝嗣 八木 育江	Viola 箴島 純子 小原 克馬 澤田 淳也 澤田 由美 田中 智康 中村 恵 ●島中 正志 柱本 理絵 日比谷平一郎 三門サカエ ●水上 清 宮下 重美	原 宏造 福島 晋哉 丸 陽子 矢野 健 ●渡辺 均 Piccolo&Flute 菊竹 秀夫 曾根 美樹 高橋 弘子 島中 由花 山田美奈子 ●吉田 龍夫 Oboe 紅林 優志 桑野 若菜 ●中橋 英純 山本 賢二 Clarinet 伊澤 力 片山真知子 鈴木 美緒 前沢 実 ●望月 俊哉 Bassoon ●松木 祐子 ◇松木 葉子 矢吹 紀子	Horn ●芥川 敬 白井 賢司 芳我 朋子 八島 亜希 山崎 和之 山田 克彦 Trumpet 内田 淳 ●清水 里美 津金 勝枝 福地 稔栄 森 久仁子 Trombone & Tuba 小林 雅子 桜井 貴志 日高 隆雄 ●府川 創作 ※煤孫さえ子 Percussion 明村 直美 今城 信彦 ●太田 純 蓑田 俊之 Harp ◇杉山 敦子 ◇野畑 潤子	<バンド> Piccolo 曾根 美樹 Horn 白井 賢司 ◇宮崎 敏幸 山崎 和之 Trumpet ◇浅野 卓也 清水 里美 ◇中村 肇 ◇平林 剛 福地 稔栄 ◇本多 豊太 ◇眞野 大典 森 久仁子 Trombone ◇坂田 朱夏 府川 創作 ◇府川 雪野 ◇星 文枝 Tuba ◇澤本 裕二
2nd Violin 青柳 由紀 新井 俊成 石橋 智子 遠藤 勝智 大谷多満江 神戸さと子 ●白水 千晶 菅井 直介 曾根 民子 ●高橋 良子 中橋美木子 馬場 潔子 日高理恵子 松井 一正 山岡 祐介	Cello ●飯田 達男 織田 和也 梶 淳子 佐藤 洋子 志村 篤子 鈴木 達広 中井 良樹 中野太一郎 西山 優子 若山 五郎 Bass 青木 俊憲 梅沢 定彦 大内 達郎 佐藤 正 中村 安孝			

●:パートリーダー
◇:賛助出演
※:団友

鎌響ホームページ (<http://homepage2.nifty.com/kso/>) もご覧下さい!

40周年記念第2弾!

【次回演奏会のお知らせ】

第80回定期演奏会 (創立40周年記念第2回演奏会)

2002年10月27日 (日) 午後2時開演: 鎌倉芸術館大ホール

マーラー: 交響曲第1番「巨人」、ブラームス: 大学祝典序曲、

バッハ: 二つのヴァイオリンのための協奏曲

指揮とチェンバロ: 古谷誠一

ヴァイオリン: 松野美智子 (当団元コンサートマスター) /

五味 俊哉 (当団コンサートマスター)

チケットは本日ロビーにて発売いたします (全自由席、1,000円)。是非お買い求め下さい!

【合唱団出演者名簿】

鎌倉市民混声合唱団

- (ソプラノ) 入江紗弥加、大江 彩子、尾崎 雅子、栗間眞由美、城下 京子、鈴鹿 恭子、鷹部屋 輝、
田島真奈美、樽木 朋子、富永 明子、中阪理津子、野瀬 恵子、南原麻衣子、村山 輝代、
山上 陽子
- (アルト) 赤井瑠璃子、上田真智子、瓜本 千明、乙津千恵子、金子千恵子、金子 美穂、菊地美智子、
木下 淑子、小西 明代、須賀 京子、鈴木 桃代、鈴木 靖子、先崎 敏子、角田 淑恵、
鶴見ひとみ、西村 慶子、日比谷早希子、増澤 華子、三井 佳子、森 禎子、和田 純子
- (テノール) 栗間 一典、雑喉 利明、清藤 義実、田島 信幸、立山 邦彦、中條 良、原山 博
- (ベース) 井上 享、上原 誠、小倉 裕、成富 正規、林 茂郎、山下 憲一

鳳混声合唱団

- (ソプラノ) 吉田ひとみ、愛沢 明子、花田みち子、高木美保子、宮崎 育代、斎藤喜久江、和井内正子、
新出 由美、星野美智子、川地 静子
- (アルト) 小田切和子、鳥海 恵子、藤本 浩子、中島 礼子、相ヶ瀬ナミ子
- (テノール) 野口 薫、山川 広史、河野 博之、吉田章一朗、平田 吉輝
- (ベース) 小田切 敏、阿比留洋久、村上 芳徳、浜田 俊一

声楽アンサンブル歌塾

- (アルト) 大久保暁子
- (テノール) 平田 吉輝
- (ベース) 阿比留洋久

一般参加者

- (ソプラノ) 菊地ひとみ、筒井 令子、和田 慈子、京田 恵子、相澤恵美子、松下 裕恵
- (アルト) 井畔 素子、今井 妙子、岡田加奈子、小林 陽子、春山 洋子、端山真知子、志村 玲子
- (テノール) 小槻 正幸、片山 勝達、清田 善則、額谷 克二、森 英敏
- (ベース) 上田 喜章、遠藤 晃、角井 秀和、記内 一弘、小林 貴、大保 雅嗣、成田 豊蔵

通勤・通学服もおしゃれ着もすべて1日でOK!!

ドライクリーニングのクイックサービス

午前中にお出し下されば夕方迄に仕上ります

ファッション クリーニング
スピード・クイック

●AM9:00~PM7:00(日曜定休) 鎌倉由比ヶ浜店(22)1501 茅ヶ崎十間坂店(85)9209
逗子本店(71)3293 鎌倉大町店(25)3722 茅ヶ崎共恵店(85)7310
逗子駅前店(73)8114 鎌倉深沢店(32)2751 茅ヶ崎矢畑店(86)6607
逗子ハイランド店(72)1131 藤沢店(22)5595 茅ヶ崎茶屋町店(87)2168

鎌響団員募集

ヴァイオリン
・
ヴィオラ
・
ファゴット

(各パート若干名)

オーケストラ経験のある方

——お問い合わせ——

0467-25-3512 田中方

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ガード脇
TEL. (22) 2 3 7 0

JURI et MODE

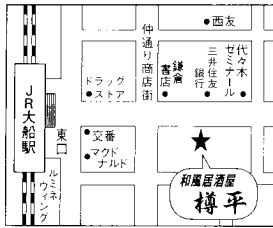
鎌倉市御成町11-2
(ヤのヤビルB1)
TEL.(0467)22-4105
茅ヶ崎市中海岸1-1-58
(大勝ビル1F)
TEL.(0467)87-1145

和風居酒屋 樽平

◇ 営業時間 ◇

平日 PM4:30~AM12:00 休日 PM3:00~AM12:00
大晦日・元旦 休業

☎(0467)46-3188



信頼と確かな技術の店
メガネの専門店

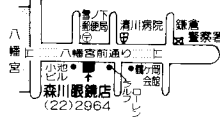
八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談
お気軽に。

- 遠中近多焦点レンズ
- 中近多焦点レンズ
- 近近用レンズ

あなたに合ったメガネ
を御調整致します。



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689
(22) 8963

健保・労災取扱

大船接骨院

佐藤元一

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700(代)

輸入楽譜専門店

速い...安い...親切...

全国すぐ郵送します。



KAMAKURA
MUSICCA

カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766

FAX.0467-22-9755

〒248 鎌倉市雪のF1-10-5

1st Ave. Kamakura 3F

定休日=木・祝祭日

クラリネット

レッスンしてみませんか?
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307

川下方 TEL 045-865-4885

片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階

医師 芋川英紀

電話 (24)7273

新鮮な明日へ

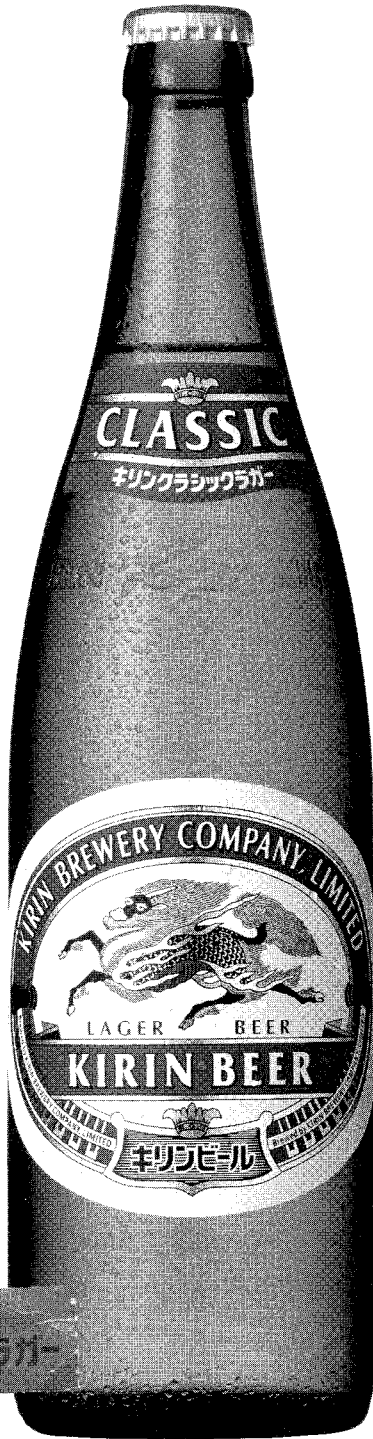
KIRIN

うまいキリン

キリンクラシックラガー

まっすぐなうまさが大人気です。

「昭和のラガー」が売れています。
懐かしくて新しい、大人のうまさ、



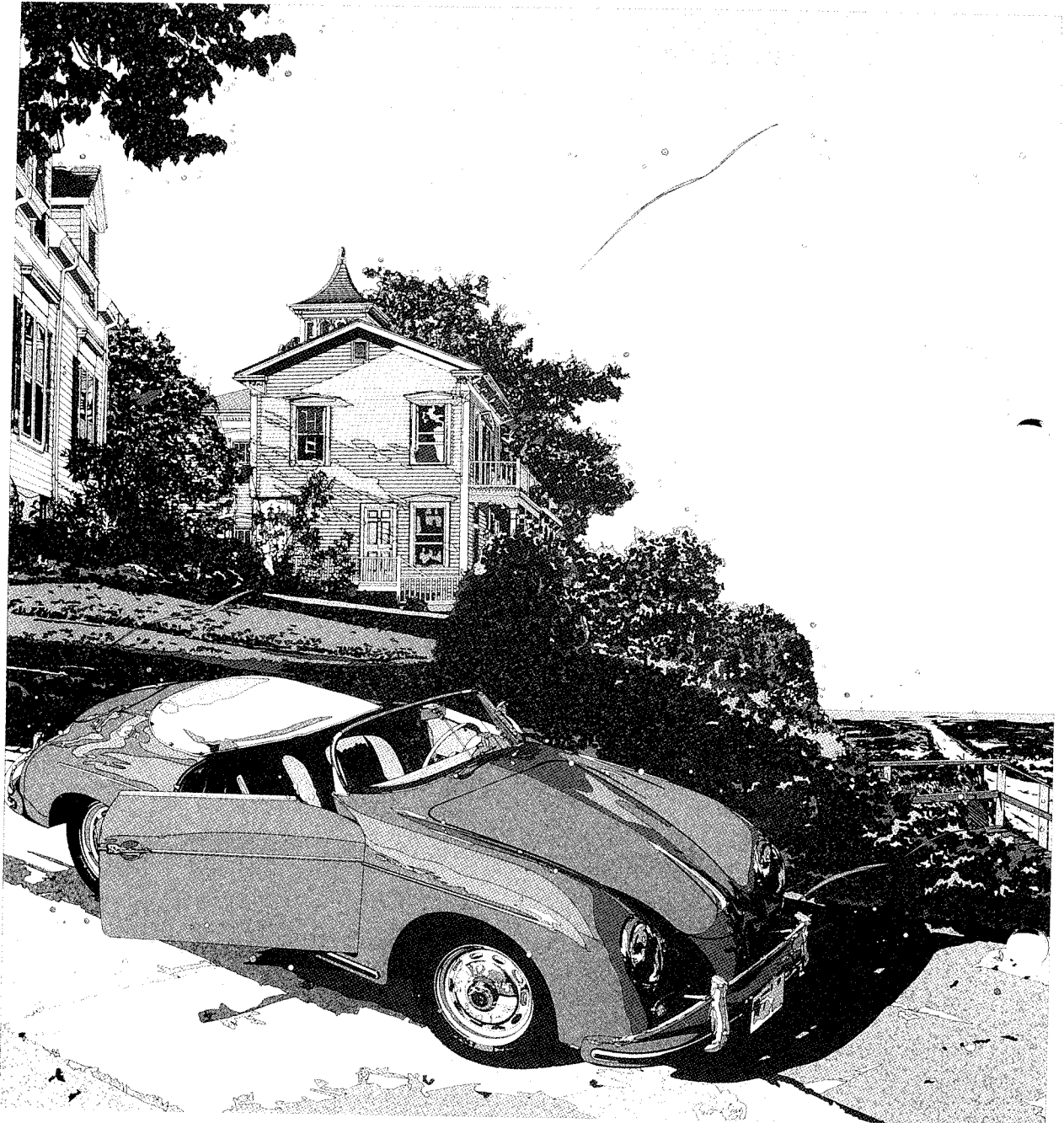
懐かしくて新しい
キリンクラシックラガー

大びん・中びん・小びんで発売です。

飲酒は20歳になってから。空きびんはお取扱い店へお戻し下さい。

www.kirin.co.jp キリンビール株式会社

GOOD DAY 湘南



© EIZIN SUZUKI

SHONAN

湘南しんきん

<http://www.shinkin.co.jp/shonan>